



エピソード

水遊びをしていたA児は、水風船を手に取り、両手で触って形が変わるのを面白がったり、地面に向かって投げ、水風船を割ることを何度も繰り返したりして遊んでいました。

最後の1つの水風船を手に取り、両手でプニプニと触っていたA児でしたが、ふと小さく開いていた穴から水が漏れていることに気付きました。保育者が「ピューってなってるね」と声をかけると、A児は人差し指で穴を押さえ、水が止まった様子をじっと見えています。保育者が「あれ？止まったね」と言うと、今度は指を穴から離し、保育者が「また出てきたね」と言うと、もう一度指で押さえました。そして、水が止まったり出たりするのを繰り返していました。

しばらくすると、A児は近くにあったバケツを持ってきて、水風船から飛び出す水をバケツの方に向けました。バケツの底をじっと見ていましたが、なかなか水が溜まりません。バケツの横に保育者がそっと手を差し出すと、A児は水風船から飛び出す水を保育者の掌の方に向けました。掌に少しずつ水が溜まるのを見て、「なんか、かわってる」と言葉にしたA児。保育者が「変わってる？」と聞くと、「うん、これ・・・」と言いながら保育者の掌についた水を触りました。「本当だ！変わってるね、お水がついたね」と保育者が言うと、A児はパッと顔を上げ、「これ（水風船）、おみずなくなるんかなあ？」と言いました。

保育者の思い

A児の言葉に応答したり同じように遊んだりして、楽しさに共感し、A児がやってみたいと思ったことを十分に楽しんでほしい。

偶然見つけたことを受け止め、A児の発見や驚きに共感したい。

状況を言葉にして、操作の仕方での動きが変化することを具体的に感じ取ったり、繰り返し試したりしてほしい。

水を溜めようとする姿を見守りつつも、溜まっていく水が見え辛いのかと思い、掌を出してみました。

A児の思いを受け止め、共感したい。

A児なりに思ったことを表現した姿や、遊びながら何かを感じ取って自分なりに考えたであろう言葉に驚きました！！

子どもの育ちや学び

- ・水や水風船に触れ、水の冷たさや気持ち良さ、形の変化などを楽しんでいる。
- ・自分なりに思いついたことを、やってみようとしている。
- ・道具の使い方がわかり、必要なものを選んでいる。
- ・遊びの中で気づいたことや思ったことを、自分なりの言葉や仕草で知らせようとしている。

家庭だったら・・・

子どもが日常の中で見つけた、「なんだこれは？」「おもしろそう！」と思ったことに共感したり、子どもなりの表現を受け止めたりすることで、子どもは安心感を持ったり、気になったことを満足するまでやってみようとしたりする姿に繋がると思います。子どもが見つけたおもしろそうなことを、ご家庭でもぜひ一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。